



「北海道-東京-関西-四国航路」の新造船「ひまわり7」

# 第108期 中間報告書

2013年4月1日～2013年9月30日

With Your Life



## 株主の皆様へ

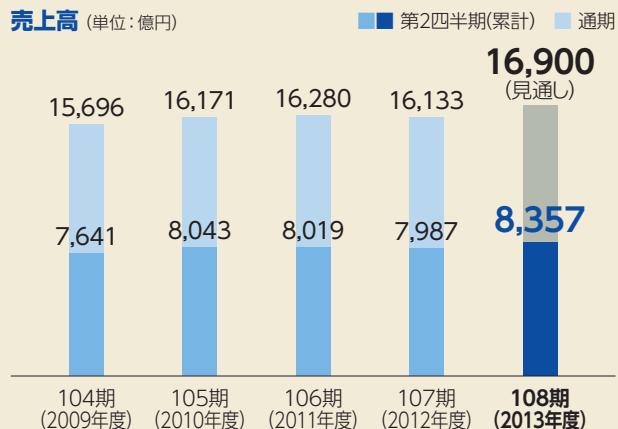
株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

第108期中間報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

代表取締役社長

波邊 健二

## 連結業績の推移



## CONTENTS

株主の皆様へ	P 1
連結業績の推移	P 1
国内トピックス	P 5
海外トピックス	P 7
連結財務諸表	P 9
会社の概況	P 11
株主さまインフォメーション	P 13

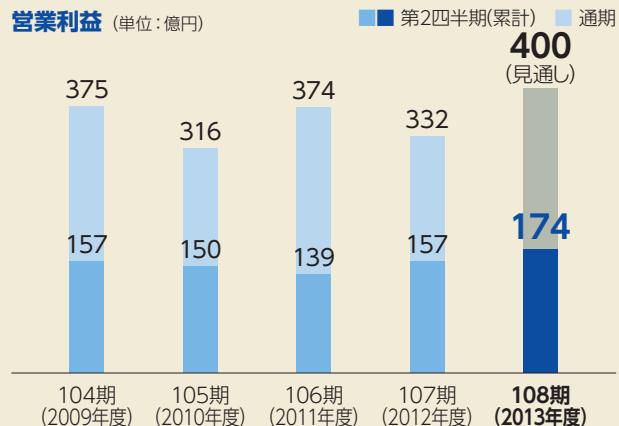
当上半期のわが国経済は、政府による経済対策や金融緩和策を背景に、円安・株高が進行し、企業収益の改善や個人消費の持ち直しがみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

物流業界におきましては、こうした経済情勢を受け、国内貨物については、輸送需要の一部に回復がみられたものの、国際貨物については、不安定な欧州経済や中国の経済成長の鈍化等により、荷動きが伸び悩むなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

日通グループは、このような経営環境のなか、本年4月1日から、3年間の中期経営計画である「日通グループ経営計画2015－改革と躍進－」をスタートさせ、4つ

の基本戦略である「グローバルロジスティクス事業の更なる拡大」「国内事業の経営体質強化」「グループ各社の多様性を活かした事業拡大」「CSR経営に基づく、事業を通じた社会への貢献」の実行に総力をあげて取り組んでまいりました。

具体的には、海外において、活発化する域内物流をサポートするための新たな輸送網の構築や多様化するニーズに対応した新拠点の開設など、当社グループの強みを発揮することができるグローバルロジスティクス事業の拡大を進めてまいりました。また、国内事業においては、スリムで強靱な組織体制を確立すべく、経営資源の配置を見直し、営業体制の拡充を図るなど、経営体質強化に向けた構造改革を進めてまいりました。さら



**セグメント別の状況(連結)** (単位：億円)

			売上高	セグメント利益
運 送	国内 会社	複 合 事 業	3,532	52
		警 備 輸 送	273	4
		重 量 品 建 設	181	10
		航 空	881	24
	海外 会社	海 運	672	33
		米 州	335	11
		欧 州	341	3
		東 ア ジ ア 南アジア・オセアニア	420 243	6 5
販 売			1,903	20
そ の 他			201	6
調 整 額 ( 全 社 ・ 消 去 )			△ 630	△ 5
計			8,357	174

## 株主の皆様へ

に、環境への配慮と低炭素社会を実現するため、ITを活用した省エネルギー化に取り組むとともに、環境保全活動などの社会貢献活動を積極的に行ってまいりました。

この結果、第108期第2四半期連結経営成績につきましては、

**売上高は 8,357億円(前年同期比 4.6%増)**

**営業利益は 174億円(前年同期比 10.9%増)**

**経常利益は 223億円(前年同期比 8.6%増)**

**四半期純利益は 74億円(前年同期比 34.2%減)**

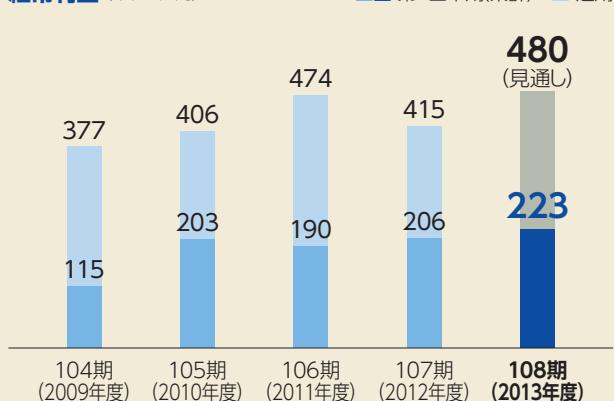
となりました。

なお、第108期中間配当金につきましては、さる10月31日開催の取締役会において、普通株式1株につき5円とし、支払開始日を本年12月3日とすることを決定させていただきました。

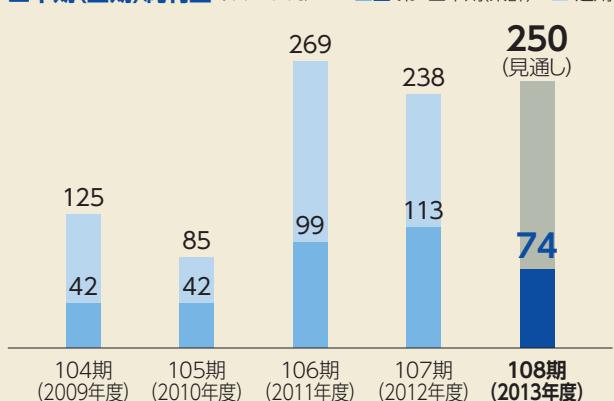
当下半期の経済動向につきましては、海外では、中国における景気減速懸念が根強く残る一方で、米国経済が引き続き堅調なことに加え、欧州の景気悪化に歯止めがかかるとの見方もあることから、全体としては回復基調で推移するものと期待されております。また、国内では、経済政策の効果等により、景気の持ち直しが続くものと見込まれており、年度末にかけて、消費税率引き上げ前の駆け込み需要も加わることから、回復の動き

## 連結業績の推移

経常利益 (単位: 億円)



四半期(当期)純利益 (単位: 億円)



が加速するものと予測されております。

物流業界におきましては、このような経済動向のなか、国際貨物・国内貨物ともに輸送需要の増加が期待されておりますが、物流の構造変化への対応、環境負荷の低減に向けた取組みや災害対策の強化など、数多くの課題に直面しております。

日通グループは、このような経営環境の変化に対応しながら、さらなる飛躍を目指し、中期経営計画である「日通グループ経営計画2015-改革と躍進-」をグループ一体となり、着実に遂行してまいり所存でありますので、今後とも、株主の皆様へのあたたかいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2013年12月

## 日通グループ経営計画2015

- 改革と躍進 -

### ビジョン

- グローバルロジスティクス企業
- 地球への責任を果たす企業
- 人にやさしい企業

国際関連事業売上高比率

2015年度 **40%**

国内複合事業営業利益率

2015年度 **3%**

### 経営計画の基本戦略

#### 1 成長性

グローバルロジスティクス  
事業の更なる拡大

#### 2 収益性

国内事業の経営体質強化

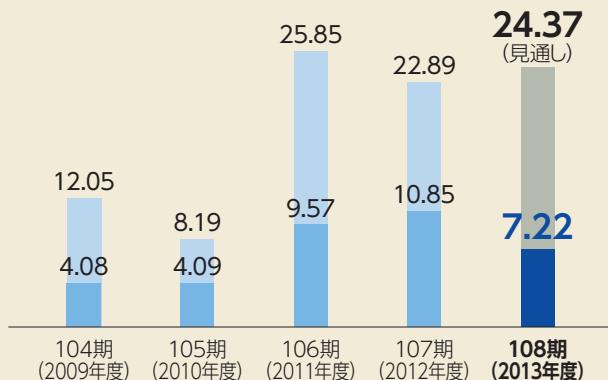
#### 3 成長性

グループ各社の多様性を  
活かした事業拡大

#### 4 社会性

CSR経営に基づく、事業を  
通じた社会への貢献

1株当たり四半期(当期)純利益 (単位:円) ■ 第2四半期(累計) ■ 通期



総資産・純資産 (単位:億円)

■ 総資産 ■ 純資産



## 国内トピックス

(2013年4月1日～2013年9月30日)

当社では国内において、当上半期も様々な活動を行ってまいりました。こちらではその中の一部をご紹介します。

### 国内ネットワーク (2013年9月30日現在)

#### ● 統括支店

札幌支店、仙台支店、群馬支店、東京支店(東京都中央区)、横浜支店、名古屋支店、大阪支店、四国支店(高松市)、広島支店、福岡支店、東京航空支店(東京都港区)、東京国際輸送支店(東京都港区)、関東警送支店(東京都江東区)など61支店

※なお、上記のほか、全国各地に168支店および134営業支店ならびに営業所・事業所などを配置しております。



会社情報



サービス情報

2013

4月

### 「北海道-東京-関西・四国航路」に新造船「ひまわり7」を投入

当社は、「北海道-東京-関西・四国航路」の東京-苫小牧間において、新造船「ひまわり7」の運航を開始いたしました。「ひまわり7」は、「ひまわり5」「ひまわり6」と比べ、約7%の燃費削減を実現し、環境に配慮したモーターシフトの推進に寄与いたします。



2013

5月

### 「2013年度日通グループ全国ドライバー・フォークリフトオペレーターコンテスト」を開催



当社は、5月24日・25日の両日、日通伊豆研修センターで、「2013年度日通グループ全国ドライバー・フォークリフトオペレーターコンテスト」を開催いたしました。このコンテストを通じて安全最優先を柱に、省燃費運転技能や整備点検技術の向上を図り、交通事故の防止と環境負荷の低減を一層推進してまいります。

2013

8月

### 「webアロー」を開始

当社は、アロー便の新しいサービスとして「webアロー」システムを開始いたしました。これにより、お見積り・送り状発行・集荷依頼などがweb上でご利用いただけるようになり、お客様の利便性がさらに向上いたしました。



<http://www.nittsu.co.jp/truck/services/mixed-cargo/web-arrow/index.html>

2013

9月

## 東京ディズニーランド®のアトラクション 「イツ・ア・スモールワールド」を提供

当社は、9月4日から東京ディズニーランドのアトラクション「イツ・ア・スモールワールド」の提供を新たに開始いたしました。また、当社がオフィシャルスポンサーとして東京ディズニーリゾートとコラボレーションしたCM「HAPINESS IS … 運ぶ」篇も放映中です。



©Disney

東京ディズニーランド®  
イツ・ア・スモールワールド

日本通運は東京ディズニーランド/東京ディズニーシーのオフィシャルスポンサーです。



©Disney

東京ディズニーリゾート30周年コラボCM  
「HAPINESS IS … 運ぶ」篇

2013

9月

## 生鮮食料品専用輸送サービス 「NEX-FOOD フレッシュ・コンテナ」 を販売開始

当社は、生鮮食料品専用の保冷コンテナを使用したコールドチェーン一貫輸送商品、「NEX-FOOD フレッシュ・コンテナ」の販売を台北・香港・シンガポールの3路線向けに開始いたしました。これにより、生産地から海外着地までの高品質なコールドチェーンの維持とコンテナ積み合せによる物流費の圧縮を実現いたしました。



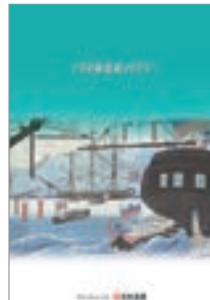
## ecoトピックス

当社では省資源化・循環型社会の実現に向けて様々な活動に取り組んでおります。

2013.6

### 「物流環境大賞」を受賞

当社が申請した、「エネルギー見える化システム NEES (NITTSU ECOLOGY & ECONOMY SYSTEM)を活用した省エネルギーの取組み」が、2012年度の第3四半期累計で総電力使用量を3.4%削減したことが評価され、第14回物流環境大賞において「物流環境大賞」を受賞し、一般社団法人日本物流団体連合会の第23回通常総会で表彰を受けました。



環境への取組みを含む日通グループのCSR活動を記載しているCSR報告書は、ホームページ内「会社情報」からご覧いただけます。

<http://www.nittsu.co.jp/corporate/index.html>



# 海外トピックス

(2013年4月1日～2013年9月30日)

グローバル戦略を推進する当社は、海外において、当上半期も様々な活動を行ってまいりました。こちらではその一部をご紹介します。

## 海外ネットワーク

世界40カ国、221都市に464の拠点を構えております。(2013年9月30日現在)

### ● 米州地域

米国、カナダ、ブラジル、メキシコ、コロンビア

### ● 欧州地域

ドイツ、オーストリア、ハンガリー、チェコ、ポーランド、ロシア、英国、アイルランド、オランダ、ベルギー、フランス、イタリア、スイス、スペイン、ポルトガル、アラブ首長国連邦、トルコ、南アフリカ、スウェーデン、ノルウェー

### ● 東アジア地域

中国、韓国、台湾

### ● 南アジア・オセアニア地域

シンガポール、バングラデシュ、ミャンマー、カンボジア、オーストラリア、ニュージーランド、マレーシア、フィリピン、タイ、インドネシア、インド、ベトナム



会社情報



サービス情報

2013

5月

## ユーラシア大陸を結ぶ鉄道輸送商品「TE2400」を販売開始

欧州日本通運有限会社は、ドイツーロシア間(約2,400km)を結ぶ鉄道輸送商品「TE2400」の販売を開始いたしました。従来の航空、海上、トラック輸送に鉄道輸送が加わり、多彩な商品ラインアップで西欧からロシアへの自動車部品、電子・事務機器等の輸送ニーズにお応えしてまいります。



2013

5月

## 博多発上海向け冷凍混載サービス「上海冷凍混載特快」を販売開始

当社は、博多発上海向け冷凍混載サービス「上海冷凍混載特快」の販売を開始いたしました。近年、中国では、日本の食品に対する人気が高まっていることから、日本発の小ロット冷凍貨物需要が増えています。本サービスは、専用冷凍コンテナを使用して博多港から上海スーパーエクスプレスで海上混載し、定期輸送するものです。当社では、今後もコールドチェーンにおけるサービスラインアップの拡充を図ってまいります。

2013

9月

## 中国に国内倉庫運営会社を設立

香港日本通運株式会社は、上海市青浦工業園区内に国内倉庫運営会社を設立し、自社倉庫による営業を開始いたしました。中国では大都市圏向けの消費物流需要が急増しており、青浦区に自社倉庫を設置したことで、高品質な物流サービスを提供することが可能となりました。



2013

7月

## バンコク-ヤンゴン間 陸路輸送サービスを販売開始

当社は、バンコク-ヤンゴン間をつなぐ、新たな陸路輸送サービスの販売を開始いたしました。これにより、従来に比べ大幅なリードタイムの短縮を実現するとともに、GPS搭載トラックと携帯電話等の使用により、輸送途上の車両の位置や状況を随時モニタリングできる体制を完備するなど、多様化するお客様のニーズにお応えしてまいります。



2013

4月

## 米国日通が情報セキュリティ マネジメントシステム 「ISO27001」の認証を取得

米国日本通運株式会社は、情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) に関する国際標準規格である「ISO/IEC 27001:2005」の認証を取得いたしました。当社グループの情報システム部門では、欧州(英国日通)、日本(本社、東京航空支店)に次ぐ同認証の取得となります。当社は今後も、情報セキュリティ管理体制の拡充を図り、お客様のグローバルビジネスをサポートしてまいります。

2013

4月

## メキシコ「グアナファト ロジスティクス センター」の営業開始

メキシコ日本通運株式会社は、グアナファト州シラオ市のグアナファト・インランドポート内に「グアナファト ロジスティクスセンター」を開設し、営業を開始いたしました。これにより、メキシコ中部で急増する自動車関連を中心とした物流ニーズに対応するとともに、当社独自のグローバル在庫管理システム「REWARDS」を駆使した高品質な物流サービスの提供が可能となりました。



連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

区 分	当第2四半期末 2013年9月30日現在
<b>資産の部</b>	
<b>流動資産</b>	606,827
現金及び預金	189,420
受取手形	15,166
売掛金	238,134
たな卸資産	5,930
その他	159,656
貸倒引当金	△ 1,481
<b>固定資産</b>	679,590
<b>有形固定資産</b>	486,511
車両運搬具(純額)	19,151
建物(純額)	239,162
土地	169,321
その他(純額)	58,875
<b>無形固定資産</b>	43,390
<b>投資その他の資産</b>	149,688
投資有価証券	110,786
その他	40,119
貸倒引当金	△ 1,217
<b>資産合計</b>	1,286,417

区 分	当第2四半期末 2013年9月30日現在
<b>負債の部</b>	
<b>流動負債</b>	403,025
支払手形	6,840
買掛金	128,529
短期借入金	65,524
未払法人税等	5,904
賞与引当金	18,370
その他の引当金	91
その他	177,763
<b>固定負債</b>	353,945
社債	65,000
長期借入金	194,898
退職給付引当金	49,201
その他の引当金	432
その他	44,413
<b>負債合計</b>	756,971
<b>純資産の部</b>	
<b>株主資本</b>	483,871
資本金	70,175
資本剰余金	26,908
利益剰余金	404,097
自己株式	△ 17,309
<b>その他の包括利益累計額</b>	39,866
その他有価証券評価差額金	44,087
繰延ヘッジ損益	△ 14
為替換算調整勘定	△ 4,206
<b>少数株主持分</b>	5,707
<b>純資産合計</b>	529,446
<b>負債純資産合計</b>	1,286,417

※記載金額は、百万円未満切り捨てにより表示しております。

## ■ 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

区 分	当第2四半期(累計) 2013年4月1日～ 2013年9月30日
売上高	835,758
売上原価	778,314
売上総利益	57,444
販売費及び一般管理費	39,987
営業利益	17,456
営業外収益	7,189
受取利息	333
受取配当金	1,768
持分法による投資利益	294
その他	4,793
営業外費用	2,258
支払利息	1,596
その他	662
経常利益	22,387
特別利益	2,292
固定資産売却益	2,100
その他	192
特別損失	11,502
固定資産処分損	1,600
投資有価証券評価損	20
特別加算退職金	9,725
その他	155
税金等調整前四半期純利益	13,178
法人税等	5,357
少数株主損益調整前四半期純利益	7,821
少数株主利益	377
四半期純利益	7,443

※記載金額は、百万円未満切り捨てにより表示しております。

## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区 分	当第2四半期(累計) 2013年4月1日～ 2013年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,099
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 21,471
財務活動によるキャッシュ・フロー	25,523
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,308
現金及び現金同等物の増減額	1,261
現金及び現金同等物の期首残高	180,503
現金及び現金同等物の四半期末残高	181,764

※記載金額は、百万円未満切り捨てにより表示しております。

### ● 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、60億円の支出となりました。これは預り金の減少229億円及び特別加算退職金の支出97億円等によるものです。

### ● 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、214億円の支出となりました。これは固定資産の取得による支出205億円等によるものです。

### ● 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、255億円の収入となりました。これは長期借入金の借入れによる収入598億円等によるものです。

より詳細な業績の情報は、当社のIRサイト

<http://www.nittsu.co.jp/ir/index.html>

をご覧ください。

日本通運 IR

検索

## 会社の概況 (2013年9月30日現在)

### 会社概要

会社名 日本通運株式会社  
(NIPPON EXPRESS CO.,LTD.)

設立 1937年10月1日

資本金 701億75百万円

従業員数 33,369名

本社 〒105-8322  
東京都港区東新橋一丁目9番3号  
TEL.03-6251-1111  
<http://www.nittsu.co.jp/>

#### 連結子会社および持分法適用会社

連結子会社 263社  
持分法適用会社 26社

### 役員

#### 〈取締役〉

代表取締役会長 川合正矩

代表取締役社長  
社長執行役員 渡邊健二

代表取締役副社長  
副社長執行役員 中村次郎

代表取締役副社長  
副社長執行役員 萩尾計二

取締役  
専務執行役員 細越雅雄

取締役  
常務執行役員 大日向明

取締役  
常務執行役員 宮近清文

取締役  
常務執行役員 井手野高大

取締役  
常務執行役員 齋藤充

取締役  
執行役員 花岡英夫

取締役  
執行役員 新居康昭

取締役  
執行役員 伊藤豊

取締役  
執行役員 秦正彦

取締役 澁澤登

#### 〈監査役〉

常勤監査役 宮崎眞一

常勤監査役 渡邊善治郎

常勤監査役 今野洋美

監査役 藤田讓

#### 〈執行役員〉

常務執行役員 渡部正人

常務執行役員 島内技

常務執行役員 和田貴志

執行役員 安藤伸樹

執行役員 石井孝明

執行役員 田淵秀明

執行役員 辻幸則

執行役員 竹津久雄

執行役員 藤居憲二

執行役員 後藤康弘

執行役員 村上浩之

執行役員 寺井克宏

執行役員 横尾行雄

執行役員 小淵雄二

執行役員 高橋康紀

執行役員 近藤晃

※渡邊善治郎、今野洋美および藤田讓の3氏は社外監査役であります。

## 株式の状況

株 式 数	発行可能株式総数	3,988,000,000 株
	発行済株式の総数	1,062,299,281 株
株 主 数		74,714 名

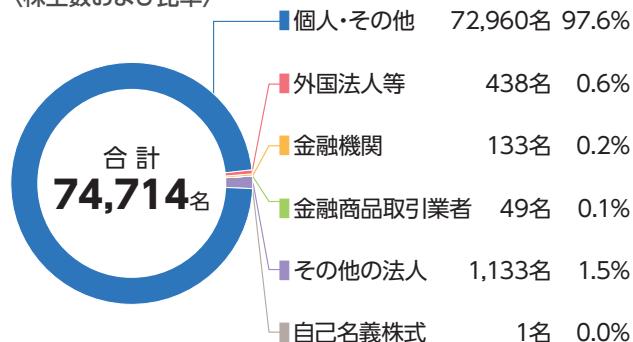
## 大株主

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	出資比率 (%)
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	79,980	7.8
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	72,341	7.1
朝日生命保険相互会社	65,905	6.4
日本興亜損害保険株式会社	50,967	5.0
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス 信託銀行株式会社	41,500	4.1
日通株式貯蓄会	36,817	3.6
株式会社三菱東京UFJ銀行	21,316	2.1
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口4)	20,150	2.0
ザ バンク オブ ニューヨーク トリーティー ジャスデツク アカUNT	13,074	1.3
ザ バンク オブ ニューヨーク-ジャス デツク トリーティ アカUNT	10,360	1.0

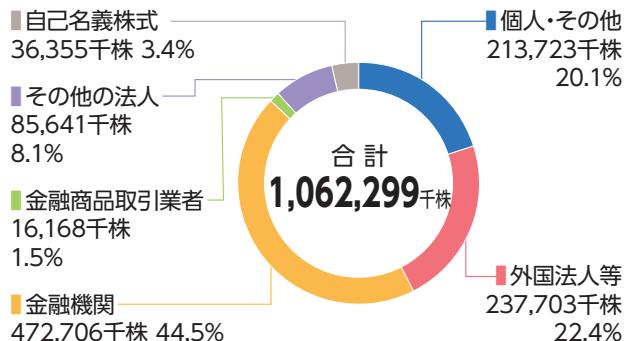
※当社は、自己株式36,355千株を保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。

## 所有者別株式の分布状況

〈株主数および比率〉



〈株式数および比率〉



## 株式Q&amp;A



Q 特別口座にある株式を  
証券会社の口座に  
振替たいのですが…

A あらかじめ、証券会社に口座開設をした  
後で、当社の特別口座の口座管理機関  
である三菱UFJ信託銀行までお申し出下  
さい。単元未満株式についても振替が可能  
です。振替にかかる手数料はございません。



Q 単元未満株式を  
処分したいのですが…

A 当社では、下記のように単元未満株式  
の**買取・買増請求制度**を採用しており  
ますので、特別口座の口座管理機関である三  
菱UFJ信託銀行までお申し出下さい。

※すでに、単元未満株式を特別口座から証券会  
社の口座に振替えられた場合は、振替先の証  
券会社にお申し出下さい。



## 単元未満株式買取・買増請求制度のご案内

**買取請求** 1,000株未満の株式を、当社に対して  
市場価格で売却できる制度です。

(例) 600株を保有の場合、市場では売却できませんが、市場  
価格で当社が買い取りいたします。

当社に市場価格で

売却

600株

-

600株

=



現金化

**買増請求** 1,000株(単元株)の不足する数の株式を、  
当社から市場価格で買い増し、単元株にする  
ことができる制度です。

(例) 600株を保有の場合、400株を買い増して、1,000株と  
することができます。

400株を、当社から市場価格で

購入

600株

+

400株

=

1,000株

単元株式  
(1,000株)

## 各種お手続きのお申し出先

- ①証券会社口座にある株式 ▶ お取引先の証券会社  
②特別口座にある株式 ▶ 三菱UFJ信託銀行

(※下記までお問い合わせ下さい。)

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

☎ 0120-232-711

☎ 0120-244-479(用紙ご請求専用)

<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

株式の諸手続きについては当社  
ホームページでもご案内してお  
ります。

[http://www.nittsu.co.jp/  
ir/procedure/index.html](http://www.nittsu.co.jp/ir/procedure/index.html)

日本通運 株式諸手続き

検索



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
単元株式数	1,000株
上場取引所	東京
証券コード	9062

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

(同連絡先)

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部  
☎ 0120-232-711

公告方法

電子公告  
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都内で発行される日本経済新聞に掲載して行います。  
電子公告掲載ホームページアドレス  
<http://www.nittsu.co.jp/>

## ホームページ紹介

当社ホームページでは、最新のニュースやIR情報、サービス情報など当社をご理解いただくための様々な情報を提供いたしております。

こちらから当社IRサイトをご覧ください。



<http://www.nittsu.co.jp/>

日本通運

検索

## 上場株式の配当金に関する「源泉徴収税率」変更のご案内

- ◆平成26年1月1日以降に支払いを受ける、上場株式の配当金には、原則として**20%**(所得税15%、住民税5%)の源泉徴収税率が適用になります。
- ◆また、平成49年12月31日まで、復興特別所得税として所得税額×2.1%が追加課税されることになっております。

平成26年以降、上場株式の配当金には、復興特別所得税を含め、**20.315%\***の源泉徴収税率が適用になります。

※所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%

	平成25年 12月31日まで	平成26年 1月1日から 平成49年 12月31日まで	平成50年 1月1日から
所得税(含む復興特別所得税)	7.147%	15.315%	15%
住民税	3%	5%	5%
合計	10.147%	20.315%	20%

○源泉徴収が行われる場合の税率です。ただし、内国法人の場合は住民税が徴収されません。

○本ご案内は、上場株式の配当等に係る税金について、一般的な情報をご提供するために作成されたものであり、本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にお問い合わせ下さい。本ご案内は平成25年8月時点の情報をもとに作成しております。



# 世界日通。

あなたのグローバルビジネスをフルサポート。

## XB3300 [ MEXICO - U.S.A. - CANADA ]

XB3300 in 北アメリカ大陸。  
国境を越えたビジネスが、もう走り始めています。

その距離約3,300km。私たち日本通運は、まさに今、日系企業の進出が加速している新興国メキシコとアメリカ、そしてカナダまでをひとつに結ぶ3ヶ国間の一貫輸送ネットワークを確立しました。

ルート名は「XB3300(クロスボーダー3300)」。

多くの日系企業が進出しているメキシコは、自動車を中心とした新たな生産拠点として注目されています。国境を越えて北米の主要都市を結ぶ新たなネットワークと、それに伴う各種手続きのスムーズ化などアメリカ大陸におけるあなたの更なるビジネス発展を全力でサポートしていきます。

世界日通。日本通運です。



〒105-8322 東京都港区東新橋一丁目9番3号  
TEL: 03-6251-1111  
URL: <http://www.nittsu.co.jp/>



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。